

言葉で攻略！最強の告白！

国語班：西坂怜、角野実咲、山口千晴

要約

言葉に流行があることやSNSの普及に伴って、告白にも今の流行があるのではないかと考えた。そこで告白の流行について、告白の好みは身の回りの事象に影響を受けているのか、自分が伝える伝えられる立場に置かれた場合に告白文の好みは変わるのか、などをアンケートを取った。アンケートから得られた結果と考察を元に研究し、現代における「※最強の告白」を見つける。

※本研究では、「告げられた時により多くの人が嬉しく感じる告白文」を「最強の告白」と定義する

序論

第一節 研究動機と目的

本研究では、言葉には流行り廃りがあり、告白の手段にも時代の流れがあるのであれば、告白及び告白に使われる言葉にも流行があるのではないかと考えた。

このような事柄から、現代の若者に受ける告白文を作ることも可能なのではないかと考え、見つけ出したという気持ちが研究動機であり目的である。

第二節 研究方法

先行研究や広辞苑などの資料における告白の定義に当てはまる範囲から、高津高校生を対象に2回アンケートを取る。そこで多くの人が「※最強の告白」であると感じる告白文を練り上げる。

本論

第一章 実施するアンケート

①恋愛系物語に登場する告白について

恋愛をテーマに扱った映画や小説などは数え切れないほどあり、それらに影響された恋愛観を持っている人が多いのではないかと、本研究では仮説を立てた。そこで本研究ではそれらの中に登場する告白文についてアンケートを取った。

②具体的な告白表現の要素について

告白される場合とする場合に分けて、使いたい言葉と使われたい言葉のアンケートを取った。また、それらを先行研究を参考に18種類に分類し、より具体的に好まれる告白文の系統を調べた。

第二章 アンケート結果

①のアンケートを取った結果、印象に残っている告白文が登場する映画、漫画、小説はあるか、ある場合それはどのような告白文だったかをアンケートで集めたが、90%の人が印象に残るものはなかったと回答をしていた。

②のアンケートを取った結果、「好きです、付き合ってください。」などの直接的な言葉が使われていたり、全体的に短い文が好まれる傾向があった。また、文の長さ以外にも好意表現や交際申請表現など類似した表現が多く見られた。

第三章 考察

この結果から本研究では、恋愛がテーマの映画や小説などが多くある原因、映画などにおける告白が多くの人々に受けが良い原因は、言葉選びだけでなく、登場人物、シチュエーション、登場人物の背景、物語の流れなど、多くの要素にあるのではないかと考えた。

また、多くの人が好む告白文の傾向が似ていたが、アンケートに用いた例文がそのようなものであった為、固まってしまったとも考えられ、アンケートの取り方や質問の仕方によっては異なる傾向が見られる可能性があるとも考えた。

結論

2回のアンケートと考察から本研究では、

- ①短文であったり簡潔である
 - ②「好きです」や「愛しています」などの好意が伝わる表現が入っている
 - ③「付き合ってください」などの交際を申請するような表現が入っている
- という3つの条件を満たした告白文が最強の告白であると結論付けた。

定型文が好まれる傾向が見られたが、自分の言葉で伝えるということも大切であるということもアンケートからわかった。

参考文献ならびに参考webページ

『昔と今ではアプローチ方法も違う？ 比べて分かる恋愛観の変化』

<https://www.workport.co.jp/plus/articles/5736> WORKPORT 2021年5月17日

山田有司『文豪たちの口説き本』彩図社文芸部 2020年6月30日

栗林克国『恋愛における告白の成否の規定因』北星学園大学社会福祉学部北星論集 2021年6月14日

若森繁男『結婚してください。』中央精版印刷株式会社 2009年6月10日

関陽子 李相沃『好意の伝達としての告白 方略分析』2013年7月28日